

まず「・・・です」「・・・ます」を学んだことを思い出してください！

ていねいな日本語で 話していますか

相手を敬う気持ちは、言葉で表現されます。それが敬語です。日本語で良く使われる敬語を身につけてきれいな言葉で表現してください。多くの場面できっと皆さんの日常生活に役立つことでしょう。

外国の方の話を聞いていて、とても気になることがあります。言葉が乱暴な人が多いことです。日本には、年上の人と話すときや親しい間柄ではない人と話すときなど「敬語」を使う習慣があるのですが、外国の方で日本語を上手に話す人でも、敬語を使わない人が目立ちます。

敬語には尊敬、謙譲、丁寧がありますが、ここでは基本的な「ていねいな日本語」について話をします。初めて日本語を習ったときの「・・・です」「・・・ます」の形を思い出してください。日常、気を付けてほしい基本的な言葉を表にしました。

そうか	⇒	そうですか
知らない	⇒	知りません
ありがとう	⇒	ありがとうございます
うん	⇒	はい
これでいい？	⇒	これでいいですか
わかった	⇒	わかりました
行く	⇒	行きます
先生は休み？	⇒	先生はお休みですか



多くの日本人は、「あの人は外国人だから、ていねいな言葉を知らないのだ」と許してくれますが、これから長く日本で生活をしていこうとしている方は、ぜひていねいな日本語を身につけてください。そして日常会話の中で使えるように努力をしてみてください。

人と人が話をした時、相手がていねいな言葉で話をしてくれて、いやな思いになる人はいません。逆に、乱暴な言葉で言い返されたら、表情には出さなくても、不愉快に思う人もいるでしょう。使う言葉によって、話す人の品格まで評価されます。

特に求職などの面接で、まだ日本語は流ちょうでなくても、相手を敬うていねいな言葉使いをするとあなたの好感度はぐんと上がることでしょう。

日本人の若いママが、自分の子どもに汚い言葉で怒っているのを聞く機会が増えたように感じます。言葉の勉強をしなければならないのは日本人も同じです。

みんなできれいな言葉を使うように心がけて、気持ちのよい会話のはずむ社会にしたいものです。

尊敬の敬語、謙譲の敬語、丁寧な敬語にはたくさんの言葉があります。毎週木曜日の10時から12時まで開かれている、ふじみの国際交流センターの日本語教室でも勉強できますので、ぜひお越しください。

ママもお子さんも一杯お友達が作れる「子育て支援センター」を知っていますか

「子育て支援センター」(名称は市町や保育園により異なります)はまだ学校へ行ってない子どもを持つ子育て中の親子が交流できる場所です。そこでは子育てサークルの育成や支援、子育て相談や情報の提供、子育て講座などを行っています。そこは市立、町立と公の運営ですので、なかなか他人には解決できない子育ての不安も安心して相談できる場所です。

●富士見市の例 富士見市立子育て支援センターぴっぴ Tel: 251-3005

月～金 AM9:00-12:00 PM1:00-5:00

●ふじみ野市の例 上野台保育所子育て支援センター Tel: 256-8623

月～金 AM9:50-PM3:30

●三芳町の例 三芳町子育て支援センター Tel: 258-5106

月～金 AM8:30-12:00 PM1:00-5:15



DVD「埼玉で暮らそう」完成!

ふじみの国際交流センターが埼玉県の影響を受けて、総力をあげて制作したDVD「埼玉で暮らそう」(7言語版)が完成しました。

内容は、埼玉に暮らし始めた時に必要な事柄を集めました。

役所への届け出、病気になったとき、子どもの教育、困ったときの相談窓口、自治会、日本語教室など、地域で安心して暮らすためのヒントがいっぱいです。動画配信サイト You Tube で動画を見ることができます。(7言語対応)

<http://www.youtube.com/user/saitamakenkokusaika>
詳しくは、埼玉県国際課ホームページをご覧ください。

新開設「生活相談」in富士見市役所

4月3日(水)富士見市役所2階でセンターの外国人生活相談がスタートしました。

心配事は大きくなる前に相談してください

鶴瀬駅からはバスも出ています。どんどんご利用ください。

毎週水曜日
9時～12時
第3相談室



予防接種の法律が変わりました。大切なお子さんの健康のために確認してください

予防接種法などが4月1日から改正されました。主な改正点を紹介いたします。

平成22年度から任意の予防接種として接種費用の助成を行っていた以下三つのワクチンが、定期の予防接種になりましたので無料となりました。

- ①子宮頸がん予防ワクチン・・・中学1年生から高校1年生に当てはまる女子
- ②ヒブワクチン・・・生後2か月から5歳まで

のお子さん。接種開始年齢により接種回数が変わります。(ヒブはインフルエンザ菌b型の略称で、乳幼児の脳などに障害を起こす恐ろしい病気です)

③小児用肺炎球菌ワクチン・・・生後2か月から5歳までのお子さん。接種開始年齢により接種回数が変わります。詳しくは各市町の保健センターへお問い合わせください。

www.ficcc.jp/living/

●情報の詳しい説明は「ふじみの国際交流センター」049-256-4290へ